



MUSASHINO *for* TOMORROW

Vol.144

Dec 2023

特別対談

「エンジョイ・ベースボール」を体現した 苦悩からの脱出

福井直睦 | 慶應義塾高等学校野球部 × 福井直昭 | 武蔵野音楽大学学長

特別メッセージ

須江 航監督 | 仙台育英学園高等学校野球部



「エンジョイ・ベースボール」を体現した 苦悩からの脱出

第105回全国高等学校野球選手権大会優勝

なおとぎ
福井直陸 (慶應義塾高等学校野球部)

×
福井直昭 (武蔵野音楽大学学長)

2023年夏、107年ぶりの甲子園優勝を成し遂げ、大フィーバーを巻き起こした慶應義塾高校。今回の学長対談には、その慶應高校でサードを守った福井学長の従甥、福井直陸選手をお迎えしました。決勝・仙台育英戦で3安打猛打賞を記録するなど、チーム最高打率の好成績をあげ全国制覇に大きく貢献した直陸選手。自身も幼稚舎から慶應で学んだ福井学長との対談内容は、「青春って密」「人生は敗者復活戦」等、その言動が常に人々の心を掴んでやまない仙台育英・須江航監督が特別にメッセージをお寄せ下さったことで、大変贅沢なものとなりました。同世代の学生・生徒はもとより、指導する先生方にも重要な示唆を与えるスペシャルトークを、存分にお楽しみ下さい。(2023年9月11日実施)



特別メッセージ

須江航監督
(仙台育英学園高等学校野球部)

敗戦から生まれた決勝の一打

直昭 では、「平仮名でたった1文字違い同士の対談」を始めます(笑)。決勝戦から半月経ちましたが、改めまして優勝おめでとう！

直睦 ありがとうございます。

直昭 早速ですが、今回の甲子園で、個人的に一番印象に残ったシーンから聞こうかな。

直睦 それは、やはり決勝(仙台育英戦)でのツーベースヒットですかね。

直昭 あれは実に大きかった。五回表、リードはわずか1点。あの一打が、相手に傾きかけた流れを断ち切ったよね。

直睦 春は全く打てなかった高橋煌稀投手から打ってだけに、自身の成長を感じることができました。



▲決勝の仙台育英戦。一挙5得点のビッグイニングを導くタイムリーツーベースを打ち二塁ベース上でガッツポーズ(8月23日) 撮影:木村和希

直昭 あの場面、どんな心境で打席に立ったの？

直睦 「低めの変化球には手を出さない。あとは楽しむだけ」ですね。

直昭 塁上で少し照れながらのガッツポーズは、学生たちにも好感度高かったよ(笑)。決勝の相手、昨年の覇者 仙台育英とは、春のセンバツ以来の再戦でした。

直睦 正直、春は、小さい頃から夢見た憧れの舞台に立てただけで満足してしまっ。もちろん勝とうと思って試合に臨んだ

のですが、(初戦という事もあり)想像以上に大きく感じた甲子園球場や、王者 仙台育英の雰囲気・迫力に押し負けてしまいました。

直昭 マウンドの湯田・高橋両投手も大きく見えたっていうのは本当？

直睦 はい、なんか190cmく

らいに見えて、オーラやばい、みたいな。自分自身、手も足も出なかったんで、負けた時はもう本当に悔しくて。

直昭 あの試合、確かに四番で結果は出なかったけど、土壇場の延長十回裏1死満塁、サヨナラのランナーを刺した(当時守っていた)レフトからのバックホームはすごかった。滅多にお目にかかれない「レフトゴロ」のワードがトレンド入りしたもんね。以前、野球を始めたきっかけを聞いていたものだから、余計感動したんだよ。

直睦 小3の時、自分でも性格上、相手からボールを奪い取るようなラグビーやサッカーはあまり向いてないかなと感じていたところ、幼馴染から「野球やってみない？」と誘われたんです。その時、幼稚舎(小学校)の担任の先生にも「肩が強いから、合ってるんじゃないか」と後押しを受けました。

直昭 そう、直前の十回表同じく満塁で凡退してただけに、昔から強肩だったって話をあの瞬間思い出してね、ジーンと…。

直睦 表の大事な場面で打てなくて放心する中、父が大会前に帽子のつばに書いてくれた言葉——「報恩謝徳」が目にとまりました。その瞬間に、それまで「四番で結果を出さなければ」と自分しか見えていなかったことに気づき、「感謝の気持ちを忘れないように」と、裏の守備では気持ちが切り替えられました。

直昭 「報恩謝徳」は仏教が由来の言葉だよな。仏教と言えば、武蔵野音大創立者の福井直秋氏、直睦君からすると高祖父、ひいひいお爺ちゃん、分かるよね？

直睦 もちろん、わかります。

直昭 実は最初は「蔵界」という名前で、富山の浄土真宗のお寺の子だったのは知ってる？

直睦 それは知らないです。

直昭 あの時代(1877年生まれ)に音楽家になろうと決心し、蔵界という名がどうも音楽家には合わないと思っただけで、19歳の時「直秋」に改名したんだ。そして、後に「福井家の男子には『直』を付けなければいけない」という条例を定めたんだけど(笑)。それは冗談として、もし直秋氏が音楽家を志さなかったら、私もお坊さんだったかもだし、直睦君も野球やってなかったかもね。やっていたとしても、サラサラヘアじゃなくて、それこそ文字通り坊主頭(笑)。

直睦 アハハ。

直昭 話を戻すけど、残念ながら当時は仙台育英が一枚上で、直睦君のビッグプレーの後、次打者が君の真ん前に落ちるサヨナラ安打を放ちました。



▲父が書いてくれた帽子のつばの「報恩謝徳」の文字

直睦 悔しかったけど、でもすぐに「今度こそ仙台育英の投手陣を打ち倒そう」という目標を立てて、そこから半年間、常に彼らを意識して練習しました。あの敗戦の経験がなかったら、甲子園にも多分戻ってきてないと思います。

直昭 敗戦直後、「夏、絶対に勝ちます」とってLINEくれたもんね。しかし実際、激戦の神奈川予選を制し再び甲子園に戻ってきて、今度は決勝で仙台育英と激突したのだから、それだけでも奇跡的です。

「エンジョイ・ベースボール」の本質 ——武蔵野の教育方針と符合

直昭 ここで、慶應野球部のモットーとして話題となった「エンジョイ・ベースボール」について説明してもらえますか。

直睦 自分が好きな野球をより楽しむために、「より高いレベル、より高いステージで野球をして、そこで見える景色を楽しむ」という意識です。そのためには、一人ひとりが考え、当然苦しい練習をコツコツと積み重ね、仲間との競争も経た結果、最後に笑顔でプレーする。本当に楽しめれば、試合でプレッシャーを感じず、ベストパフォーマンスが出せる。

直昭 エンジョイって「楽しんで勝とうとしている」と曲解されやすいけど、「自由にやるだけではなく、苦しんで試行錯誤して、正解を探し出す」ということだね。僕も常日頃、「大学生は、与えられた課題をこなし試験に備えて暗記をする受動的な“学習”ではなく、課題の本質を見極め解決法を創造する主体的な“学修”が大事だ」と話していますが、それを慶應高校野球部は最高の形で実践している。あと森林貴彦監督は野球部のサイトで、「高校野球だけにしか通用しない常識・技術ではなく、野球を通じて、結局これは人生に役立つなっていうような、考え方とか人間関係のつくり方などを授けたい」とおっしゃってるよね。

直睦 例えば、特に負けた時が重要で、礼儀正しく相手を称えられるのか。審判やチームメイトのせいにする事なく、敗戦を正面から受け入れられるのか。また「チーティング」といわれる、いわゆるカンニング、つまり(コース球種を絞るための)打者によ

る捕手の位置確認やサイン盗みは、絶対に禁じられています。

直昭 スポーツマンシップなどを学びながら、個々の成長を目指していく。武蔵野の教育方針の「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」にまさに通じます。言葉にするのは簡単なことですが、これを“結果が出る”まで日常的にやり続けるのは容易

なことではない。やはり監督の指導者・教育者としての明確な理念と、それを貫き通す信念、そしてそれを受け容れる選手たちの姿勢があったからこそ生まれた、今回の結果なのでしょう。



▲打撃フォームの改善点を解説する直睦選手。手前は福井学長コレクションの甲子園球場ジオラマ

フォーム改善とメンタル強化により 打撃不振を打開

直昭 実は、直睦君の春のセンバツ以降から夏の甲子園までのスランプからの脱出が、「エンジョイ・ベースボール」を体現しているという事で、新聞等に掲載されていました。朝日新聞の記事「甲子園Vへの軌跡たどる」における森林監督の言葉を抜粋します。

「春の大会で4番を打っていた選手が調子を落とし、夏の甲子園では彼の打順は下位に甘んじていたのですが、なんと彼は甲子園が始まる前に、打撃不振を打開するため自らの意志で打撃フォームを変えたのです。そして、自分の課題を分析し、フォーム変更の理由を言語化しながら取り組み、甲子園の期間中のオフの日も志願してバットを振っていたということです。その結果、甲子園が終わってみれば、彼はスタメンの中で最高の打率をたたき出していたのです。」

直昭 入学して1か月も経たないうちに、怪我をして暫くプレーできなかったんだよね。その時と春以降に調子を崩した時は、どちらが苦しかった？

直睦 圧倒的に、春以降の方が辛いです。

直昭 プレーすらできない方が、キツク思えるけど。

直睦 身体は動けるのだから、言い訳できない。頭で考え結果を出すしかない。

直昭 まさに苦悩。では、そこから脱出した方策の“フォーム変更を言語化する”とは？

直睦 1日1日、その時々微妙な感覚の違いを、言葉で表さないとすぐに忘れちゃうので。悪い感覚も含め、毎日状態をス





▲甲子園期間中のオフの日も志願して練習した。3回戦(対広陵)でのバッティング(8月16日)

マホに書きまくりました。そして、最終的に良い感覚だと感じたものをまとめて見てから、練習に入るようにしました。

直昭 悪い感覚を覚えるというのも大事なことだね。私の弟子にも言うんだけど、失敗した時はあんなにショックを受けてるくせに、月日が経つと皆すっかり忘れちゃうんだよね、悪い意味で(笑)。

直睦 そうです。悪かったことを記憶する方が、大切なくらいです。

直昭 ところで、フォーム変更って勇気が要ると思いますが、具体的にはどこをどう変えたの？これ野球専門誌じゃないんだけど(笑)。

直睦 まず、打つ時に頭が中に入ってしまうとバットが…(以下3分、野球マニアの学長嬉しそうに聴き入る)

直昭 フォーム改善と併せて、メンタルトレーニングにも励んだとか。

直睦 チームが近年取り入れている「スーパー・ブレイン・トレーニング」ですね。緊張や不安など精神面の乱れをコントロールする、脳から心を鍛えるトレーニングです。練習中「ダルい」とか「キツイ」などのネガティブなワードをつい使いたくなる時でも、「頑張ろう」とか「ありがとう」等の良い言葉遣いを増やしていくことで、苦しい場面でも平常心を保ち、気持ちで優位に立てるように、メンタルを鍛えていきました。

直昭 メンタル面での練習も“野球を楽しむ精神”に繋がっているんだね。

直睦 打席で凡退した時には、「切り替える」と実際に口に発して、守備位置につくようにしました。

直昭 演奏でも野球でも、ベストなパフォーマンスと最悪な事態をそれぞれイメージしておくことで、どんな展開になったとしても「すべて想定内」と割り切ることができ、慌てることなく平常心でいつも通りのPlayができると思います。続いては、慶

▼攻守交替時も笑顔でベンチに戻る(8月23日) 撮影:木村和希



應野球部の伝統である「学生コーチ」の存在についても聞かせて下さい。

直睦 塾高(慶應高校)出身の大学生が、四年間ボランティアで練習指導はもちろん、対戦相手の分析、メンタル面での支えに加え、時には勉強まで教えてくれます。また、ベンチ入りできなかった同級生たちもスタッフに回ってくれたりして。そういう人たちの存在がなかったら、自分たちは絶対に勝てていなかったです。

直昭 サラサラヘア、白い肌、笑顔…慶應が勝てば勝つほど、紙面等にはそんな言葉が溢れ返ったけど、それらはあくまで表面上のこと。素晴らしかったのは、野球の実力だけではない。勝つことの意味、それを選手自身が、社会的な次元で追究したチームはかつて殆どなかったと思います。私は、式典などで「多様性が尊重される現代社会こそ、自分の人生を貫く考え方、生き方が何であるかを培い確立していくことが大切であり、同時に、他人の個性や価値観も尊重し受け入れる包容力、またそこから学ぶ謙虚な心も必要だ」と話しています。これは、武蔵野の建学の精神「〈和〉のこころ」は、「個々人の自立」と表裏一体となって捉えられるべきである、という考えに基づきます。さらに、憚りながらも類比的に申し上げれば、福井直秋の「〈和〉のこころ」と、慶應義塾の福澤諭吉先生による「独立自尊」は含意は同じである——そして慶應野球部こそ、一人ひとりの「独立自尊」と、(ベンチ外も含めた)チームとしての「和」をそれぞれ追究し、高いレベルで融合させ、今述べた含意を具現していると感じました。

▼歓喜の瞬間を迎え、喜びを爆発させアルプス席に走り出す慶應ナイン。右から2人目が直睦選手(8月23日) 撮影:木村和希



幼稚舎(小学校)で書いた夢を叶える

直昭 幼稚舎の頃に書いた「塾高で甲子園に出て優勝する」という作文が出てきたという記事を読みました。

直睦 全く覚えてなかったけど、3回戦の頃、当時の同級生が教えてくれました。

直昭 月並みな表現だけど、幼い頃の夢を叶えたって素晴らしい。覚えてなかったとはいえ(笑)。他には、「侍ジャパンに入って、取材を受けたい」とあるけど、もう取材はたくさん受けてるよね、たとえば今とか(笑)。

直睦 アハハ。でも、幼稚舎の時に慶應のユニホームを着て、こうやってまた高校で同じユニホームを着て日本一になれたのは、本当に幸せです。

直昭 幼稚舎と言えば、決勝の九回表、ベンチ入り唯一の幼稚舎からの友人、清原勝児選手に代打で打席を託したね。私が選ぶ隠れた名シーン(笑)。あの日既に3安打打ってノッてたから、もう1本打ちたいって思わなかった？

直睦 いや、本当にあそこは勝児なら任せられる、勝児に打ってもらいたいなと思いました。

直昭 まして勝児選手とは、世田谷西リトルシニア(中学硬式野球チームの名門)でも一緒だったもんね。

直睦 打席に向かう時の声掛けも含め、勝児には勇気づけられました。

野球選手

四年〇組 福井 直睦

ぼくの将来はどうなっているか、前に考えたことがある。

ぼくは、野球選手になってほしい。中学で、硬式のチームに入って、高校では甲子園で優勝して、大学でも野球をやって、社会人になったら社会人チームに入って、ドラフト一位になり、プロ野球チームの巨人に入る。そして侍ジャパンに入って、かつやくして有名になり、テレビに出たり、取材を受けたりする。

そんな将来が本当に実現したら、この作文を「宝物」にする。

▲作文

“言葉の魔術師”仙台育英・須江 航監督からのメッセージ

直昭 直睦君に限らず、慶應の選手たちには、自分たちの野球を自分たちで創り上げ、対戦相手をリスペクトしながら全力で戦い抜こうという強い意志が感じられました。また、惜しくも大会連覇はならなかったものの、同じく自主性・スポーツマンシップを重んじる王者 仙台育英高が対戦相手だったからこそ、慶應は十二分に力を発揮し、高校野球の楽しさも示してくれたので

はないでしょうか。優勝インタビューに答える慶應の選手たちの言葉に、仙台育英・須江監督だけでなく、選手全員がベンチで立ちながら拍手を送る場面は忘れられません。野球とは、やはり対戦相手に恵まれてこそ、大きく成長できる競技なのでしょう。ここで、直睦君に素晴らしいプレゼントがあります。なんとその仙台育英の須江航監督が、奥様(絵菜夫人)が武蔵野の卒業生というご縁もあり、直睦君にメッセージを下さいました。(メッセージを見せて)どうですか？

直睦 ビックリしました。お忙しい中、有難いメッセージをいただき、誠に光栄です。春夏甲子園での仙台育英さんとの試合は、自分の野球人生において一番記憶に残る試合になりました。しかし、この瞬間に決して満足せず、大学でも仙台育英の選手と共に頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

直昭 須江監督からは、併せて武蔵野の学生に対してもメッセージを頂きました。心より御礼申し上げます。今回の準優勝時のコメントとしてフォーカスされた「人生は敗者復活戦」というワードですが、監督は実は従来からこの言葉を著書等でたびたび使われています。僭越ながら私も常々「本番で成功した喜びよりも、むしろ失敗した悔しさを味わうことこそ、成長の糧となるだけでなく、人格を重層構造にし、人生をより豊かなものにする」ということを話しています。新時代のリーダー像を体現する須江監督の言葉には、いつもオーケストラのようなパワーが宿り、様々な音色が響き、演奏者・教育者・経営者としての私の心を強く共鳴させて下さいます。そして余計なことかもしれませんが、奥様も大変聡明な方で、さすが須江監督、さすが武蔵野(笑)と思っております。これからも応援させていただきます。

▼仙台育英・須江 航監督と夏の大会前の練習試合で。絵菜夫人が武蔵野の卒業生ということで、監督から声を掛けて下さる。(7月3日)



～仙台育英・須江 航監督からの特別メッセージ～

福井直睦くんへ

春の甲子園の激戦に続き、夏の甲子園しかも決勝戦の大観衆の中での対戦は、私達にとっても人生の中の素敵な思い出になりました。本校の生徒たちは東京六大学に進学するなど、リーグ戦や大会においてお手合わせいただくこととなります。良きライバル、友になり生涯の付き合いにしてもらえたら嬉しい限りです。ご縁いただきましたので、これからはファンとしても応援しています。夏の甲子園17打数8安打3打点。ナイスバッティングでした。おめでとう。

武蔵野音楽大学の学生の皆さまへ

仙台育英学園高等学校硬式野球部監督の須江航です。妻が御校の卒業生であり、また福井学長の御親戚の直睦くんのご縁で今回メッセージを送らせていただきました。喜びや感動、悲しみや失望—夢や目標、叶えたいことがあるとそんな感情が湧き起こり、人生に彩りを与えてくれます。私にとってそれは、野球や1人1人の生徒の成長ですが、皆さんには声や奏でる音色、音楽なのだと思います。私も皆さんも、そんな素敵なことに出会えて幸せですね。夢は近付くと目標が変わります。自分の個性と感性を大切に、豊かな心を育む4年間にして下さい。

直昭 さあ甲子園で優勝した今、作文を書くとしたら、将来の夢は何か？

直睦 大学で野球をしっかりとやって、それからですね。でも、どんな形であれ“幸せ”を掴みたいですね。

直昭 「自分なりの幸せを見つけ、努力する」森林イズムですね。では、最後に、同世代の武蔵野の大学生、高校生にメッセージを。

直睦 自分が好きで始めたことを続けて、成長する。そんな機会を与えてくれる環境自体にしっかりと感謝した上で、これからもお互い好きなことに対する力を伸ばしていきましょう。

直昭 どんな時代であっても、人間は、人間が全身全霊で物事に打ち込む姿に惹かれるんだよね。ありがとうございました。



福井直睦 Naotoki Fukui (慶應義塾高等学校3年)

2005年東京生まれ。180cm、80kg。幼稚園から慶應義塾で学ぶ。四番レフトで出場した2023年春のセンバツ初戦では仙台育英に敗れるも、延長十回の1死満塁の場面で、持ち前の強肩を生かし本塁封殺のレフトゴロで観衆を沸かせる。雪辱に燃えサードで再臨した夏の甲子園では、決勝・仙台育英戦で貴重な追加点となる適時打を含む3安打猛打賞を記録するなど、全5試合で安打を放ちチーム最高打率.471の好成績で、107年ぶりの全国制覇に大きく貢献。「ベースボールチャンネル」ベストナインに三塁手部門で選出。

須江 航 Wataru Sue (仙台育英学園高等学校 硬式野球部監督)

1983年埼玉県生まれ。仙台育英学園高等学校・戸部大学卒。2014年仙台秀光中等教育学校野球部監督として「第36回全国中学校軟式野球大会」で優勝。2022年仙台育英学園高等学校硬式野球部監督として「第104回全国高等学校野球選手権大会」において優勝、東北勢初の全国制覇に導いた(中学、高校ともに日本一に導いた史上初の監督)。また、2連覇を狙った第105回大会でも2年連続の決勝戦まで進出し準優勝を飾った。また第104回大会の優勝インタビューで、コロナ禍の中の高校生たちの思いを代弁した「青春ってすごく密なんです」という言葉は、2022年「新語・流行語大賞」の選考委員特別賞を受賞。

シカゴ「ミッドウエスト・クリニック」に出演(2018年)

卒業生有志による「就任30周年記念」吹奏楽演奏会が開催された。(2023年10月1日)
全国から200名ものクレマー氏の教え子たちがベートーヴェンホールに集まった。



特別
寄稿

在籍33年を振り返って —武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブルと共に

レイ・E.クレマー | ウィンドアンサンブル指揮

インディアナ大学バンドディレクター、「ミッドウエスト・クリニック」会長、全米吹奏楽指導者協会会長などの要職を歴任するなど、米国吹奏楽界の重鎮であるレイ・E.クレマー教授。1990年、武蔵野音楽大学に初めて客員教授として着任され、以来33年間にわたりウィンドアンサンブルの指揮・指導に多大なるご尽力をいただいてきました。

このたび、2023年度で武蔵野での指導を終えられることになり、来る12月12日、東京芸術劇場での定期演奏会が最後の公演となります。

集大成となる演奏会を控えた教授から、武蔵野でのこれまでの思い出と感謝のメッセージが届きました。



私の初来日は、当時教鞭をとっていたインディアナ大学のシンフォニックバンドが、東京で開催された日本とアメリカ各吹奏楽指導者協会の「合同コンベンション」に招待された1984年でした。リハーサルで初めて武蔵野音楽大学のベートーヴェンホールを訪れましたが、その時はまさか6年後に、武蔵野からウィンドアンサンブルの指揮者として招聘を受けるとは夢にも思っていないでせう。もちろん、武蔵野のLPを何枚か持っていましたし、素晴らしいアンサンブルであることは知っていましたが、何より新しい文化を体験し、アメリカの音楽教育システムとは大きく異なる背景を持つ学生たちを指導できる、素晴らしい機会になると思い、その招聘を快諾しました。

そして3か月間の日本滞在に備えるために、インディアナ大学での活動を調整して、東京へ飛びました。成田空港に降り立った私と妻は、誰も知らない、標識も読めない、日本語で「ありがとうございます」と「おはようございます」しか言えないことに気づき、不安になりました。しかし、セキュリティを抜けた時、「CRAMER」と書かれたプラカードを持った、武蔵野のスタッフを見つけて安心したのを覚えています。その後、滞在先となる桜台学舎に向かう車中で、彼が一生懸命私たちと会話をしようと試みましたが、その時私たちの住んでいたブルーミントンは真夜中、私は眠っていたようでした。日本との15時間の時差の影響を感じた初めての経験でした。

レイ・E. クレマー Ray E. Cramer

元インディアナ大学教授、バンドディレクター。シカゴで開催される世界的な音楽のイベント「ミッドウエスト・クリニック」の会長を13年間もの長きにわたり務めた他、全米大学吹奏楽指導者協会会長、アメリカ吹奏楽指導者協会会長などの要職を歴任する。また、「エドウィン・フランコ・ゴールドマン賞」、「ローエル・メイソン・フェロー勲章」、「全米吹奏楽協会殿堂」など多くの受賞歴がある。日本国内では、陸上自衛隊中央音楽隊、東京佼成ウインドオーケストラなどの演奏会に指揮者として招かれ、高い評価を受けている。日本バンドクリニック委員会名誉顧問。インディアナ大学名誉教授。武蔵野音楽大学名誉教授。



クリストファー・マーティン氏(トランペット)と共演
(2018年12月11日 東京芸術劇場 コンサートホール)

そして迎えた学生たちとの最初のリハーサル。私はとてもDoki-Dokiしていましたが、すぐにテンポ、ダイナミクス、アーティキュレーションの捉え方は、日本も同じであるとわかり安心した一方で、学生たちとコミュニケーションをとることに關しては、時間がかかりました。そのため、自分の音楽的な考えを理解してもらうために、ジェスチャーや表情をオーバーに伝えること、そして普段より大きな声で話すことを心がけた他、日本語の勉強も始め、解決していきました。苦労もありましたが、とても楽しい思い出です。

後になって聞いたのですが、最初のリハーサルにサングラスをかけ、口ひげを生やし、古い野球帽をかぶって、派手なネクタイを締めて登場した私を見た学生たちは、その風貌に威圧感を感じたそうです(笑)。これまで接してきた教員と違う、いわゆるアメリカンスタイルは、強烈なインパクトだったと教えてくれました。



過去 30 年間の素晴らしい体験を思い起こしてみると、その数は枚挙にいとまがありませんが、一例を挙げてみましょう。武蔵野のために書かれた数々の世界初演作品や著名なゲストソリストたちとの共演には、いつも「奇跡の瞬間」がありました。シカゴの「ミッドウエスト・クリニック」に3回(1995年、2006年、2018年)参加しましたが、その素晴らしい演奏は何度もスタンディングオベーションを受け、学生たちだけでなく、大勢の聴衆の記憶にも残りました。今でもクリニックのディレクターたちが、武蔵野の演奏をどれほど楽しんだかを話してくれます。また、日本国内の演奏旅行では、各地の卒業生、地元の人たちとの温かな交流が、美しい景色と共に心に残っています。

そして私自身にも「奇跡の瞬間」がありました。それは2009年、武蔵野音楽学園から名誉教授の称号を授与されたことです。私の業績を高く評価してくださり、このような名誉ある称号を贈ってくださったことを、大変誇りに思っています。

* * *

私は、長年にわたり客員指揮者を務め、武蔵野のきわめて優れた特質を実感してきました。学生たちは、音楽の才能にあふれ、常に礼儀正しく勤勉で、これまでの音楽経験と異なるアイデアを柔軟性をもって受け入れ、惜しみない敬意を注いでくれます。講師陣は、常に学生に寄り添い、彼らが演奏、音楽教育、その他音楽関連分野で成功するために力を傾注しています。職員は、



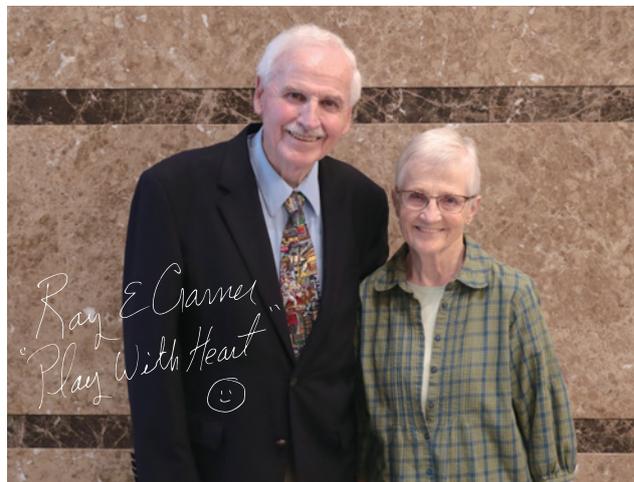
驚くべき献身的運営能力を持っています。ウィンドアンサンブル担当のスタッフは、演奏会の成功に向け、情熱と優れたリーダーシップをもって学生をまとめてくれます。武蔵野は、明確なビジョンと類稀なる管理能力を持っており、それが大学の隅々までいきわたっているのです。

ご存知の通り、日本における吹奏楽の人気は高く、そのレベルはあらゆる面で優れています。吹奏楽の活動を通し得られる様々な実体験は、各々に達成感や満足感をもたらしてくれることでしょう。このような中、武蔵野音楽大学、および同大ウィンドアンサンブルは、時代の流れに沿って変革をしつづけてきました。特に2017年に竣工した近代的なキャンパスは、全国各地の音楽を志す優秀な生徒たちの関心を集めることでしょう。今後も理想的な演奏・学修機会を提供する音楽大学として大きく発展していくことを確信しています。私は武蔵野のすべてが大好きです！

* * *

私にとって武蔵野との音楽を通したプロフェッショナルな協力関係は、非常に心温まる充実したものでした。あの時、武蔵野音楽大学という素晴らしい機関の一員にならないかと誘われたとき、導かれるように「イエス」と答えたことが奇跡への旅路の始まりでした。日本の皆さんに、家族の一員として歓迎していただいた私と妻は、日本文化と日本人を愛するようになりました。この33年間、私たちの人生を深く豊かにしてくれた武蔵野、そしてすべての友人たちに心から感謝を申しあげます。武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブルを指揮するのは今年で最後になりますが、また武蔵野に、そして友人たちに会いに日本に帰ってきたいので「さようなら」とは言いません。またお会いしましょう。

心からの感謝を込めて
Ray and Molly Cramer





武蔵野音楽大学学生レジデンス
フリューゲル
“Flügel”

豊かな暮らしを友と共創・協奏し、
未来への翼を手に入れる

文・学長 福井直昭

2024年1月 — 新たな女子専用学生レジデンスが誕生

築50数年が経過し老朽化が目立ってきた「むらさき寮」に代わる女子専用の学生レジデンスが、2024年に竣工いたします。一般的な学生寮のイメージを覆す高級感とスタイリッシュな建物で、全居室は個室にすることでプライベート空間をしっかりと確保しながらも、一人暮らしでは得られない広い共用スペースを完備しており、コミュニティを自然に誘発します。食堂ではバランスの良い朝食と夕食を提供（銀座スエヒロ）し、学生の健康にも配慮して

います。また、冷暖房を完備した快適な練習室も21室備えています。鉄筋コンクリート造、地上5階建て全105室。江古田キャンパスから徒歩2〜3分に立地し、江古田・新桜台・小竹向原の3駅へもアクセス抜群。周辺には暮らしに必要な便利施設が充実しています。

なお、設計施工はマンション建設で業界トップの実績を誇る「株式会社長谷工コーポレーション」が担当しています。

フリューゲル
名称“Flügel”の由来

「Flügel」は、ドイツ語で“翼”という意味ですが、音大生はこの言葉を聞くと、「ハンマー・フリューゲル」や「フリューゲル・ホルン」

といった楽器名をまず思い浮かべるかもしれません。もちろんそれらも意識しましたが、本当の由来は、ベートーヴェンの「交響曲第九番」、通称「第九」の第四楽章「歓喜の歌」の歌詞にあります。当該箇所を下に引用します。

Alle Menschen werden Brüder, すべての人は兄弟となる
Wo dein sanfter Flügel weilt. 柔らかな汝の翼がひろがる下へ

人類愛を歌う「第九」ほど壮大なものではないにせよ、ここに居住する寮生たちが、レジデンス内あるいは大学で「かけがえない時間と笑顔が満ちる豊かな暮らしを友と共創・協奏し、未来への翼を手に入れてほしい」という願いを、“Flügel”という名称に込めました。



“音楽と空間を行き来する”

音楽は時間というプラットフォームの上で、さまざまな音の組み合わせや抑揚によりシーンの変化と興行きを生み出しています。それらを空間に落とし込むことで音楽の美しさを具現化し「音楽と空間を行き来する」——これが暮らしの中で、新しい時代に求められる音楽家の感性を育むことを目的とした「Flügel」の設計コンセプトです。「Flügel」では、複数の空間を組み合わせることで、ここに住まう学生・生徒たちが様々なシーンを体験し、感受性を高めることのできるきっかけ作りを行っています。例えば、共用スペースは、高低差を利用して様々な居場所を設け、同時多発的にコミュニティが生まれるような空間としました。その他、天窗や大開口の窓から視く四季の変化などの様々な空間体験から喚起された感情が、音楽表現の礎となると考えます。



ちなみに、上掲の完成予想図に見られるように、建物形状は建築基準法の日影規制により、ひな壇状になっていますが、実はこの形状を生かすためにコンピューショナルデザイン(具体的な設計に入る前のプラン、そのためのシミュレーションなどを、コンピューターを駆使して実施すること)を取り入れ外観をデザインしています。具体的には、ベートーヴェン「交響曲第7番」の数小節をプログラミングによりデザインに落とし込み、マリオン(建物の外観に用いる飾り柱)等で表現しています。同じく、エントランスホールを抜けた正面の飾り棚(9頁参照)も、コンピューショナルデザインにより同曲の別の数小節をデザインに反映し、印象的なアイキャッチとしています。

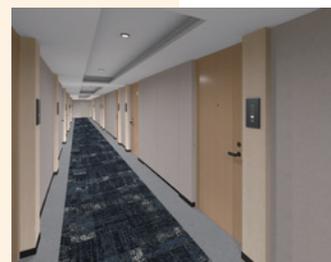


充実の居住空間

各居室には、バルコニーが付き、開放感を生んでいるほか、エアコン、ベッド、天井照明、机、椅子、冷蔵庫、洗濯機、インターネット環境が標準装備されており、入居後すぐに快適な生活を送ることができます。また、多くの寮や学生マンションはバスやトイレが共同なのに対し、本レジデンスは各居室にバスルームとトイレが独立して設置されています。

さらに、バスルームには、衣類乾燥の他、入浴後の湿気を短時間で除去する浴室暖房乾燥機も設置。洗面化粧台には、引出2段と引き扉収納を確保し、収納を兼用した鏡を採用しました。また、天井取付型の屋内物干しにより、雨の日でも洗濯が可能です。

なお、居室に至る廊下は屋内式を採用しており、プライバシーの確保や防犯に優れています。



開放感のある共用スペース

朝夕利用する食堂やラウンジは中庭に向けて大きな開口をとり、開放感のある明るい空間となります。共用スペースは快適なネット環境を有し、食事・勉強・ミーティングなどの様々な場面で、学生同士のコミュニケーションを育みます。時には、学生同士の交流をより深めるために、共用スペースを活用したイベントなども開催したいと考えています。また、食堂の外に広がるオープンテラスと中庭は、緑あふれるリフレッシュスペースとなります。



快適な練習室

——新品の最上位モデルグランドピアノの設置

大学キャンパス内の練習室を利用することはもちろん可能ですが、寮内にも全室冷暖房を完備した快適な練習室を21室用意したため、リラックスして練習することができます。この中には、このたび、公益財団法人ロームミュージックファンデーションが実施する「2023年度ピアノ寄贈事業」により本学に寄贈されることが決まったヤマハ株式会社の新品の最上位グランドピアノ「C3X espresso」が12台設置されます(16頁参照)。



安全性と利便性を両立させるシステム

エントランスにはオートロックシステムを採用し、ノンタッチキーをかざすだけで自動ドアを解除できます。また、建物周りには防犯カメラを設置して、セキュリティを高めています。その他、モニター付きインターホン、防犯センサー、警備会社の夜間配置、メールボックス・宅配ボックス等の設備・システムにより、安全性と利便性の両立を実現させています。

以上のような、美しさと機能性にこだわり、分譲マンションレベルの設備・仕様を備えた“Flügel”の竣工は、2024年1月25日を予定しています。寮生たちがそれぞれのプライベートを満喫しつつ、

様々な価値観をもつ友人との交流や日々のかげがえのない空間体験を通じて、音楽家としての新たな発見を楽しめる豊かな日常を送ることを願います。

そう 琮

前田 仁 作 1986年 日本 鍵全長 14.6~28.4cm

学内の各コンサートホールで開演を知らせるチャイムとしておなじみの優しい音色、実は本学楽器ミュージアム所蔵の石の楽器であることをご存知ですか。

それは、香川県讃岐地方特産の石「サヌカイト」を用いた創作楽器で、『琮』と呼ばれています。写真のように墨色をした石を円筒形に加工し、2オクターヴの音域の鍵を吊り下げた石筒チャイムです。円筒部分の内側には、筒の頭部をわずかに残してぎりぎりの深さまで切り込みが入れられていて、これにより微妙なうなり現象が生じることで、独特の長い余韻と、深く柔らかな音色が得られるのです。

サヌカイトは、今から約1,350万年前、瀬戸内地域の火山活動の中で、地底から噴出した火山岩で、色が黒く、粒子が緻密でガラス質に富んだ石質です。また、同一方向に目が揃っていることもあって、加工には非常に適していることから、旧石器時代には、矢じりや石斧などの石器として利用されてきたことが知られています。また、その独特の石質から、原石を打つとカーンと響くため、俗に「カンカン石」の愛称でも親しまれてきました。

写真の楽器を草案し、製作した前田仁氏は、自身の住む香川県坂出市金山が、実は旧石器時代に石器の素材で知られてきたサヌカイトの産地であったということに感動して、さまざまなサヌカイト楽器の開発に情熱を注ぎました。前田氏の卓越した



発想と高度な研磨厚技術、音響工学などによって、「琮」の他にも、石琴、石板、笛各種などさまざまなサヌカイト製楽器が生まれました。

地質学や考古学といった観点から、稀少価値の高かった太古の産物であるサヌカイトは、悠久の時を経て、私たちに癒しと安らぎを与えてくれる存在として新たな息吹が吹き込まれているのです。

(武蔵野音楽大学楽器ミュージアム所蔵)

楽器ミュージアムにおけるアクティブラーニングの取組み —「子ども音楽大学いるま」—

本学は、10年前より入間市と連携して「子ども音楽大学いるま」を企画・運営しております。「子ども大学」とは、2002年にドイツの大学で始まった地域連携型の新しい教育活動です。2009年に日本でも導入され、埼玉県を中心に、各地域の特徴を活かしたさまざまな「子ども大学」が設置されてきました。本学では、音楽の専門機関として、地域の小学校4年生から6年生までの子どもたちを対象に、大学教員が中心となって講師を務めています。楽器ミュージアムはこの事業に発足当初から関わっていて、子どもたちが学校教育ではなかなか触れることの少ない多様な音楽文化に触れる機会を提供してまいりました。毎年、アクティブラーニングを取り入れた独自の音楽教育プログラムを展開しています。

例えば、身近な素材を用いて簡単な楽器の製作に挑戦したり、日本の楽器や世界の民族楽器など類似する楽器を比較し、楽器が伝播する過程でどのように変化したかを考察したり、楽器の意匠やモチーフに注目して観察し、各地域や民族でどのような意味をもつのかを考えたりと、楽器のもつ多面的な魅力に、美術的、歴史的、民族的、科学的側面からアプローチしています。

今年の講義では、「身近な素材で楽器づくり」のほか、「楽器のひみつをさぐる」というテーマで、楽器の音が出るしくみや音を響かせる工夫、音の高さや音色を変化させる工夫など、さまざまな音の実験を通して、生徒たちは楽器の基本的な構造について学びました。

参加者からは、「実験して考えるのが楽しくて面白かった、素材が変わると音の響き方が違うことや弦の長さを半分にする音が1オクターヴ高くなるのがわかった、箏やアフリカの楽器などに触れることができ楽しかった、楽器を作れることがわかった」などの声が聞かれました。



「楽器のひみつをさぐる」講義風景
2023年9月23日 コーラスホールにて

オペラ公演のお知らせ

武蔵野音楽大学オペラ公演が、2024年4月に開催されます。演目は、本学では初めて採り上げるメロッチェ作曲《ヘルプ！ヘルプ！宇宙人が襲ってきた！》を上演します。春休みを終え、学校へ戻る子供たちを乗せたスクールバスの前に突如として現れた宇宙人。その宇宙人に、学校の先生たちが子供たちを守るために、音楽を武器にして立向かうというストーリーがユーモアいっぱいに描かれています。

作曲者自身が楽譜に「子供と、子供好きな人のためのオペラ」と記したように、幅広い世代で楽しめる作品となっています。学生・卒業生の中から学内オーディションで選ばれたキャストたちが、第一線で活躍する本学講師陣の指導のもと、熱心に練習に取り組んでいます。皆さまのご来場を心からお待ちしています。

キャスト

武蔵野音楽大学オペラ公演	
演目	G.C.メロッチェ:《ヘルプ！ヘルプ！宇宙人が襲ってきた！》 全1幕 日本語上演
指揮	佐藤正浩 (本学特任准教授)
演出	岩田達宗 (本学特任准教授)
管弦楽	武蔵野音楽大学管弦楽団
会場	武蔵野音楽大学 プラームホール
公演日	4月28日(日) 15:00 / 29日(月祝) 15:00 / 30日(火) 18:00
入場料	4,000円 (全席自由)
お問合せ	武蔵野音楽大学 演奏部 TEL.03-3992-1120

	4月28日(日)・30日(火)	4月29日(月)・祝
エミリー	今井美玖	上野紗和
音楽の先生	土屋優子	林 真悠美
校長先生	谷 友博	樋口達哉
トニー	井出壮志朗	上田 駆
門番	照屋篤紀	島 敬祐
算数の先生	齋藤菜々子	塙 梨華
国語の先生	望月一平	野中遥己
理科の先生	奥秋大樹	杉尾真吾
アナウンサー	三戸大久	
生徒	角木タミエ、中山里咲、久我真由、佐野詩織、伊藤和奏、長島有葵乃、野村拓海、村瀬優梨花、井筒梨音香	
宇宙人(ダンサー)	横田雪華、石川 柊、スタンリー峰輪、長坂明音、安立夏美、桑原理紗	

No.59

音 | 楽 | の | 万 | 華 | 鏡 |

市川克明 (本学音楽学コース長・教授)

低音金管楽器における半音階への希求

18世紀後半、二管編成のオーケストラが定着しましたが、19世紀に入りさらに編成が大きくなると低音楽器の充実が必要になってきました。しかし、演奏可能な音が限られていた金管楽器では、チェロやファゴットに匹敵する「自由度」を持つ低音楽器は見当たりませんでした。

主に軍楽隊で使用されていた低音「金管楽器」セルバン(蛇の意味)は、ピッチが不安定かつソノリテの点で劣り、オーケストラの低音楽器としては定着しませんでした。管体に「穴」を開ける金管楽器としては、キイトランペットがあります。アントン・ヴァイディンガー(1766-1852)は、自ら考案したキイトランペットのために、フンメルやJ.ハイドンにコンチェルトを委嘱したことはよく知られていますし、これらは、今日でもトランペットのための重要なレパートリーとなっています。

ところで、バリの楽器製造家アラリは、キィで開閉する音孔を持つキビューグルにヒントを得て「オフィクレイド」を発明し特許を取得しました(1817年)。ガスパーレ・スポンティーニ(1774-1851)は歌劇「オリュンピア」でこの新作楽器を用い(1819年)、ベルリオーズは、「幻想交響曲」(1830年)の中でもこの楽器を指定しています。ここに、ようやく低音金管楽器で「自由に」半音階を演奏できる楽器が誕生したのです。

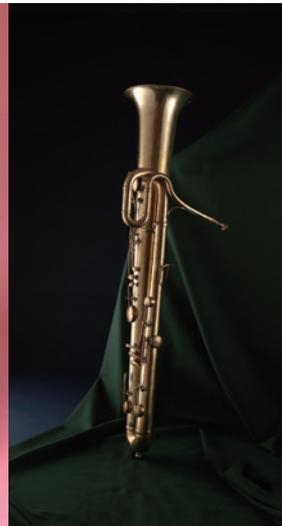
しかし、オフィクレイドは思いのほか短命でした。1835年にはヴァルヴチューバが、次いでユーフォニアムが発明されるにいたり、音色音程ともに安定した楽器にとって代わられることになりました。とはいえ、ヴェルディの「レクイエム」(1874年)でも使用されるなど、いくつかの国や地域では19世紀末近くまで使用されていました。

ところで、ウィーンの楽器製作家フランツ・ボックは、1844年4月1日「オイフォニオン」の特許を申請、名称形状ともにユーフォニアムの誕生であり、来年はこの楽器の生誕180年となります。ほぼ同時期に、オフィクレイドに形の似たサクソフォーンが発明されました。オフィクレイドは、低音金管バス楽器という意味ではユーフォニアムやチューバの、形状の面からはサクソフォーンの先祖と言えましょう。

セルバン



オフィクレイド



*写真の楽器は、本学楽器ミュージアム所蔵

令和4年度 大学院博士後期課程学位記授与式

令和4年度 武蔵野音楽大学大学院博士後期課程の学位記授与式が、7月29日、本学モーツァルトホールで執り行われました。それぞれにおける研究成果が高く評価され、次の5名の方に博士の称号が授与されました。

落合美聡さん(音楽学)、菅原修一さん(音楽学)

藤井千裕さん(器楽)、王 昭然さん(器楽)、佐藤杏樹さん(器楽)
これまで培われてきた高度な知識と専門性を活かして、さまざまな分野での今後の活躍が期待されます。



「コンコルディア奨学金」を新設

武蔵野音楽大学では、このたび一篤志家の方からいただいたご寄附を原資とする「コンコルディア奨学金」を新設しました。

本奨学金の名称は、ローマ神話の協調、相互理解、調和の女神を意味する“コンコルディア”に由来し、本学の建学の精神「〈和〉のこころ」にも通ずるものであります。

この奨学金は、本学学部卒業予定者・卒業生、および大学院修了予定者・修了生を対象に、特に秀れた成果を挙げた者、ならびに今後の成長が大いに期待できる者を表彰、奨励するもの

です。主な給付対象は、著名なコンクールの受賞歴、学会等での顕著な研究業績、諸外国の秀れた特色ある教育機関への留学、優秀な楽団や教育研究機関への正規の採用などです。在学中の勉学状況、成果、教員からの推薦状、本人からの実績報告書などの書類を総合的に勘案して選考されます。

在学生を対象とした武蔵野独自の「福井直秋記念奨学金」に加え、この新たな奨学金制度が、卒業後の更なる研鑽の励み、活躍の後押しになるものと期待しています。

本学合唱団 東京都交響楽団と共演

5月12日、本学合唱団(合唱指揮:藤井宏樹本学講師)が、東京文化会館で開催された東京都交響楽団演奏会に出演しました。本公演は、「三善晃生誕90年/没後10年記念プロジェクト」として、作曲家三善晃が鎮魂と非戦の思いを訴えた「反戦三部作」を取りあげたことで大変話題になりました。指揮は、パーミンガム市響の首席指揮者で、国際的に活躍し日本人作品と合唱音楽にも力を入れる山田和樹氏が務めました。



本学は、東京混声合唱団と共に、三部作中の《レクイエム》と《詩篇》に出演しました。山田氏の渾身の指揮に導かれた圧倒的な響きは、人々の胸を突くうねりとなって会場を包みこみ、満員となった聴衆からの拍手はいつまでも鳴りやむことがありませんでした。

若い学生たちにとって“反戦”をテーマとした作品に取り組むことは、容易ではありませんでしたが、この意義ある演奏に出演できたことは大変貴重な経験となりました。終演後、山田和樹氏から「皆さんの必死の想いが、歴史の1ページを創り上げた公演でした。武蔵野音大の皆さんにお願いして本当に良かったです。」とメッセージをいただきました。



©Yoshinori Tsuru

提供:TMSO/©堀田力丸

福井直昭学長が「全日本音楽教育研究会」会長に就任

福井直昭学長が今年度より「全日本音楽教育研究会」の会長に就任しました。

本研究会は、小・中・高の音楽科教育に加え、大学の教員養成教育も包括する全7地区、約3万人の会員数を有する全国の音楽教育の研究実践をつなぐ組織で、1969年の発足以来、半世紀にわたり活発な事業運営を行ってきました。主な事業は、毎年千人規模で全国音楽教育関係者が参加する全国大会の主催と、全国7地区の音楽教育研究大会の後援と資金助成ならびに

「NHK 全国学校音楽コンクール」の主催等です。

今年度の全国大会は、10月26日・27日の日程で富山県で開催されました。オーバード・ホールで行われた開会式では「芸術教科としての音楽教育が人間形成に果たす役割や責任は不易な存在と考える。全国の音楽教育関係者が校種を超えて、その質的向上を実践的に研究し連携することが今後ますます重要となるため、本会の全国の音楽教育研究を繋げる役割が一層求められる」と、新会長として挨拶を述べました。



ウィンドアンサンブル演奏会

指揮:レイ E. クレーマー

▼香川県 観音寺公演

(日時) 2023年7月8日(土) 14:00

(場所) ハイスタッフホール(香川県観音寺市民会館)



▲東京公演

(日時) 2023年7月12日(水) 18:30

(場所) 東京オペラシティ コンサートホール



▲第53回 日本吹奏楽指導者クリニック イブニングコンサート

(日時) 2023年5月20日(土) 18:30

(場所) アクティシティ浜松大ホール

出演学生たちによる
地元中学生・高校生
へのクリニックを行
いました。(7月7日)



PROGRAM(東京/香川公演)

シュトラウス:国王行進曲

ティケリ:永遠の光

パーシケッティ:交響曲 第6番 Op.69

ジルー:バーニング・ザ・ウィッカーマン(日本初演)

デイ:ダンシング・ファイア

バーンスタイン:《オン・ザ・タウン》より 3つの舞曲エピソード

ヴァルチック:犠牲の紋章(日本初演)

ジョージ:フル・サークル

チャイコフスキー:《雪娘》より 道化師の踊り

全日本吹奏楽コンクール課題曲より(香川公演のみ)

坂東玉三郎 特別招聘教授 による特別講座

(日時) 2023年5月17日(水) 18:30

(場所) プラームスホール

オペラ《蝶々夫人》を題材とした演技指導



ボストン・ブラスコンサート & クリニック

(日時) 2023年5月25日(木) 18:30

(場所) プラームスホール



管弦楽団演奏会

指揮:北原幸男

PROGRAM

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番ハ短調Op.37

マーラー:交響曲第1番ニ長調(巨人)



▲栃木県 宇都宮公演

(日時) 2023年9月17日(日) 16:00

(場所) 宇都宮市文化会館大ホール

ピアノ独奏=石田光希

(演奏学科ヴィルトゥオーゾコース3年)



▲東京公演

(日時) 2023年9月19日(火) 18:30

(場所) 東京芸術劇場

コンサートホール

ピアノ独奏=木内伶奈

(演奏学科

ヴィルトゥオーゾコース3年)

高校生活を彩る附属高等学校行事

〔修学旅行〕

6月1～3日に2年生の修学旅行が行われ、初日は、静岡にある「ヤマハ掛川工場・豊岡工場」の見学を行いました。ピアノや管楽器の製造過程を学ぶなかで、製作者の情熱や誇りなども感じられた貴重な機会となりました。2日目はあいにくの天候でしたが、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ出かけ、思い思いの楽しい時間を過ごしました。3日目は広島、原爆ドーム・平和記念資料館、矢川ピアノ工房を訪ね、工房で所有する被ばくピアノを使用させていただきコンサートを行うなど、音楽大学附属の高校ならではの平和学習を体験しました。



〔スポーツ大会〕

6月15日、入間キャンパスの体育館においてスポーツ大会(体育祭)が開催されました。

競技は、二人三脚、長距離玉入れ、買い物リレーなどの競技で熱戦が続き、特に各学年対抗の応援パフォーマンスでは、それぞれが趣向を凝らしたダンスを披露し、大いに盛り上がりました。

〔演奏会〕



「サマーアンサンブルコンサート」「第27回 在校生によるコンサート」が、それぞれ7月8日、9月23日に江古田キャンパス プラームスホールにおいて開催され、出演した生徒たちは、日頃の研鑽の成果を披露しました。



(公財) ローム ミュージック ファンデーションより、グランドピアノ寄贈

このたび、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションが実施する「2023年度ピアノ寄贈事業」において、2024年1月竣工予定の本学学生レジデンス“Flügel”（9,10頁参照）の練習室に設置するグランドピアノ 12台および関連するアクセサリ類の寄贈、さらにその他の諸費用の助成が決定されました。

本事業は、同財団が音楽文化の普及・発展に資することを目的として、1991年の財団設立当初より取り組んでいる各種活動の一つで、演奏家を養成する教育機関に良質な新品のピアノ

を寄贈し、学生たちが音楽を楽しみ学ぶ環境を整えることを趣旨としています。

今回寄贈を受ける12台のグランドピアノはヤマハ株式会社の『C3X espresso』で、ヤマハ社が長年のピアノづくりで培った技術とクラフトマンシップを惜しみなく注ぎ込み製作されている最上位モデルです。本寄贈は新学寮のスタートに対し、また、未来を担う若者たちへの素晴らしい贈り物となりました。

本学関係者一同、このたびのご厚意に感謝し、社会に貢献できる豊かな人材の育成に一層努力していきます。

笑顔があふれた附属幼稚園行事

本学附属第一、第二、武蔵野の各幼稚園では、春から夏にかけて季節の行事が実施されました。

遠足、日曜参観、おみせやさんごっこ、プール開き、すいかわり、七夕の集い、納涼会などさまざまなシーンで園児たちの笑顔があふれました。作品を制作したり、お友だちと力を合わせて取り組んだり、行事をとおして成長していく姿がみられました。



「らんまんファンミーティング in 練馬」本学で開催

2023年4月より半年間にわたり放送されていたNHK連続テレビ小説「らんまん」は植物学者・牧野富太郎博士をモデルとし、植物を一途に愛する博士の人生が美しい草花とともに描かれ、多くの話題を呼びました。

そしてドラマも佳境を迎えた去る8月20日には「らんまんファンミーティング in 練馬」が、牧野博士が晩年を過ごしたゆかりの地・練馬区にある本学ベトーヴェンホールで開催されました（主催：NHK・練馬区）。

オープニングでは、本学の荒木七海さん、樋口花音さん（ともに3年）、辻友香さん（研修員）、谷藤雅規さん（4年）による弦楽四重奏が、主題歌あいみょんさんの「愛の花」をドラマの名場面をバックに披露し、お客様からは盛大な拍手をいただきました。



本学学生による主題歌のオープニング演奏で、イベントへの期待がより一層高まった。

ゲストには、ドラマに出演された俳優の要潤さん、伊礼彼方さん、脚本家の長田育恵さんをお迎えし、主演の神木隆之介さん、ヒロインの浜辺美波さんからの特別メッセージも紹介されながら、撮影にまつわる貴重なエピソードトークで盛り上がったその模様は、9月10日にNHK総合「首都圏いちオシ！」で放送されました。

本学では地域や社会とのつながりを重視し、今回のような撮影等に可能な限り協力しています。



要潤さん、伊礼彼方さんが、反響を呼んだセリフを再現する場面もあり、満員の会場は終始笑いにあふれていた。

武蔵野音楽学園教育運営推進協力寄附金 ご寄附をいただいた方々

学校法人武蔵野音楽学園では、寄附金に対する税額控除制度の恩典が与えられたことに鑑み、教育環境整備基金、福井直秋記念奨学基金並びに演奏活動特別基金の拡充を目的とする寄附金を募集しましたところ、下記の方々よりご寄附をいただきました。ここにご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。

学校法人 武蔵野音楽学園

同窓生

安藤理香子様	打越孝裕様	木下達也様	清水美希様	田村晶子様	中村裕子様	水上由貴様
家泉浩美様	奥井真由美様	栗山敦子様	庄司正子様	筒井英子様	林 秀樹様	光田明子様
石渡保子様	小野理恵様	小松孝子様	真丸祐亨様	戸田美樹子様	深谷陽子様	村上紀子様
市川倭子様	金井貴義様	嶋田晶子様	武田 聡様	中谷 勉様	本間道夫様	森吉郁子様
岩佐未由美様	川辺宣子様	島筒英夫様	田中美恵様	中村俊輔様	松原かほり様	吉田厚子様

在学生・同ご父母

奥野幸寿様	佐藤久美子様	墨谷充昭様	高桑枝実子様	高島一昭様	鄭 麗様	吉田美香様
岸野真弓様						

役員・教職員・一般・他

阿久津三智子様	大竹 亮様	岸田 讓様	薦田治子様	高田千絵様	中田淳子様	日高正枝様
石井牧子様	奥田 操様	栗山文昭様	佐野悦郎様	田口宗明様	野村邦武様	星野光江様
上原 明様	片山みゆき様	古池 好様	重松 聡様	中川俊宏様	原田知子様	村上直行様

(他に匿名を希望される方20名)

※ご芳名(五十音順)は、2023年3月1日から2023年6月30日までに寄附いただいた方々です。

それ以降の方々は、次号にて掲載させていただきます。また勝手ながら掲載区分は当方で決めさせていただきます。何とぞご了承ください。

※本学ウェブサイトからも、クレジットカード決済により寄附のお手続きができます。是非ご利用ください。

栄冠おめでとう! (コンクール入賞者等)

名 称	内 容	氏 名
Kazimierz Serocki 18th International Composers' Competition 2023 (ポーランド)	第1位、PWM Edition's 特別賞	木村真人 (本学講師 2005年大学卒業・作曲)
第7回国際行進曲作曲コンクール "Città di Allumiere" (イタリア)	コンサート・マーチ部門 第1位、 「Rossano Cardinali トロフィ」受賞	正門研一(1989年大学卒業・音楽学)
第31回サウンズコンテスト (主催:大分県情報サービス産業協会)	フリー曲部門 一般の部 第1位、 トリニータ応援歌部門 最優秀賞	大塚考浩(2004年大学卒業・ピアノ)
第38回日本管打楽器コンクール	ホルン部門 第2位	阿部華苗(2017年大学卒業・ホルン)
SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2023	ピアノ部門 準グランプリ、大学生の部 第1位	小林広歩(大学2年・ピアノ)
	ピアノ部門 一般の部 第2位(1位なし)	長 雅大(2020年大学卒業・ピアノ)
第1回プリマヴェーラ声楽コンクール	カント・クラッシコ トレンタ部門 第2位(1位なし)	井筒梨音香(修士2年・声楽)
	カント・クラッシコ ヴェンティレ部門 第3位	塙 梨華(修士1年・声楽)
	カント・クラッシコ ディチョット部門 第2位(1位なし)	大宮みゆら(大学1年・声楽)
第31回ヤングアーティストピアノコンクール	ピアノデュオ部門 連弾グループ 金賞	大島夕季(2022年修士修了・ピアノ)
		条谷 恩(2022年修士修了・ピアノ)
第26回"長江杯"国際音楽コンクール	声楽部門 一般の部A 第1位、理事長賞	金城美奈子(2017年修士修了・声楽)
	弦楽器部門 一般の部A 第2位(1位なし)	王 藝涵(修士1年・ヴァイオリン)

※上記の他多数。大学ウェブサイトをご覧ください。掲載は順不同、敬称略、学年は受賞時のものです。

大学・高校受験講習会

講習会名	日程	申込期間
冬期受験講習会	12月23日⑤～12月25日⑥	10月10日④～12月15日⑤
春期受験講習会	2024年3月25日⑦～3月27日⑧	2024年2月10日④～3月11日⑦

【会 場】武蔵野音楽大学 江古田キャンパス

【要項請求】本学ウェブサイト内の「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、本学広報室(TEL.03-3992-1125)へお電話にてご請求ください。

オープンキャンパス

開催日	主な実施内容	会場
2024年3月24日⑨	ガイダンス(大学案内)、附属高等学校説明会、体験レッスン、 学生によるコンサート、キャンパスツアー、質問コーナー、保護者説明会	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス

※事前申し込みが必要です。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

【お問合せ】武蔵野音楽大学 入学センター TEL.03-3992-2500 E-mail: nyugaku-c@musashino-music.ac.jp

2023年12月～2024年5月の演奏会

12月6日 [㊦] (18:30)	室内合唱団演奏会 (指揮: 栗山文昭・片山みゆき)	ベートーヴェンホール 1,000円 (全席自由)
12月12日 [㊦] (18:30)	ウィンドアンサンブル演奏会 (指揮: レイ・E. クレーマー)	東京芸術劇場 コンサートホール 1,500円 (全席指定)
4月12日 [㊦] (18:30)	令和5年度 音楽学部卒業生新人演奏会	ブラームスホール 1,000円 (全席自由)
4月28日 [㊦] (15:00)	オペラ公演①メノッティ:《ヘルプ! ヘルプ! 宇宙人が襲ってきた!》全1幕 日本語上演	ブラームスホール 4,000円 (全席自由)
4月29日 ^{㊦・祝} (15:00)	オペラ公演②メノッティ:《ヘルプ! ヘルプ! 宇宙人が襲ってきた!》全1幕 日本語上演	ブラームスホール 4,000円 (全席自由)
4月30日 [㊦] (18:00)	オペラ公演③メノッティ:《ヘルプ! ヘルプ! 宇宙人が襲ってきた!》全1幕 日本語上演	ブラームスホール 4,000円 (全席自由)
5月17日 [㊦] (18:30)	令和5年度 大学院修士課程生新人演奏会	ブラームスホール 1,000円 (全席自由)

※やむを得ない事情により、開催日時・出演者・曲目等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 ※詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。※チケットは本学ウェブサイトより購入できます。
 ●お問合せ 武蔵野音楽大学演奏部 TEL. 03-3992-1120 ●武蔵野音楽大学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

2024年度 入学者選抜日程

大学院音楽研究科

	出願期間		試験期間
	ウェブ出願 (情報登録)	出願書類郵送	
修士課程 B 日程	2024年1月29日 [㊦] ～2月5日 [㊦]	2024年1月29日 [㊦] 消印～2月8日 [㊦] 必着	2024年3月5日 [㊦] ～7日 [㊦]
博士後期課程	2024年1月29日 [㊦] ～2月5日 [㊦]	2024年1月29日 [㊦] 消印～2月8日 [㊦] 必着	2024年3月8日 [㊦] ・9日 [㊦]

●出願方法はウェブ出願となります。手続方法等詳細については入学試験要項でご確認ください。

音楽学部

	出願期間		試験期間
	ウェブ出願 (情報登録)	出願書類郵送	
一般選抜 A 日程	2024年1月15日 [㊦] ～1月22日 [㊦]	2024年1月15日 [㊦] 消印～1月24日 [㊦] 必着	2024年2月18日 [㊦] ～22日 [㊦]
一般選抜 B 日程	2024年2月19日 [㊦] ～2月26日 [㊦]	2024年2月19日 [㊦] 消印～2月28日 [㊦] 必着	2024年3月 5日 [㊦] ～ 7日 [㊦]
一般選抜 C 日程	2024年3月 4日 [㊦] ～3月11日 [㊦]	2024年3月 4日 [㊦] 消印～3月13日 [㊦] 必着	2024年3月16日 [㊦] ・17日 [㊦]
3年次編・転入試 (一般)	2024年1月 9日 [㊦] ～1月16日 [㊦]	2024年1月 9日 [㊦] 消印～1月18日 [㊦] 必着	2024年2月10日 [㊦] ・11日 [㊦]

●出願方法はウェブ出願となります。手続方法等詳細については入学者選抜要項でご確認ください。
 ●一般選抜 A・BおよびC日程の受験では、国語・外国語 (英語・ドイツ語またはフランス語) については、大学入学共通テストの成績を利用できます。

別科

	出願期間		試験期間
	ウェブ出願 (情報登録)	出願書類郵送	
別科	2024年1月9日 [㊦] ～1月16日 [㊦]	2024年1月9日 [㊦] 消印～1月18日 [㊦] 必着	2024年2月11日 [㊦] ・12日 [㊦] ([㊦] ・ [㊦])

●出願方法はウェブ出願となります。手続方法等詳細については入学試験要項でご確認ください。

附属高等学校 (音楽科)

	出願期間		試験期間
	郵送	窓口	
推薦入試	2024年1月 6日 [㊦] ～1月13日 [㊦] 必着	郵送のみ	2024年1月22日 [㊦] ※試験場: 本学附属高等学校 人間キャンパス
一般入試 A	2024年1月19日 [㊦] ～1月26日 [㊦] 消印	郵送のみ	2024年2月10日 [㊦]
一般入試 B	2024年3月 1日 [㊦] ～3月 8日 [㊦] 必着	郵送のみ	2024年3月16日 [㊦]

※詳細は、各入学者選抜要項、入学試験要項でご確認ください。
 【試験会場】武蔵野音楽大学江古田キャンパス (附属高校推薦入試を除く)
 【要項請求】各入学試験要項は江古田キャンパスで取り扱っています。郵送をご希望の方は、本学ウェブサイトの「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、広報室へお電話にてご請求ください。
 【要項請求先】武蔵野音楽大学 広報室 TEL. 03-3992-1125 本学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

Contents Vol.144 2023

- | | | |
|----|----------------------|---|
| 1 | 巻頭 特別対談 | 「エンジョイ・ベースボール」を体現した苦悩からの脱出
福井直睦（慶應義塾高等学校野球部）× 福井直昭学長
特別メッセージ 須江 航監督（仙台育英学園高等学校野球部） |
| 7 | 特別寄稿 | 在籍33年を振り返って 武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブルと共に
レイ・E. クレーマー |
| 9 | 学生レジデンス 《Flügel》 | 豊かな暮らしを友と共創・協奏し、未来への翼を手に入れる |
| 11 | 楽器ミュージアムレター | 琮
楽器ミュージアムにおけるアクティブラーニングの取組み
— 「子ども音楽大学いるま」 — |
| 12 | オペラ公演のお知らせ
音楽の万華鏡 | 低音金管楽器における半音階への希求 市川克明 |
| 13 | Musashino News | 令和4年度 大学院博士後期課程学位記授与式
「コンコルディア奨学金」を新設
本学合唱団 東京都交響楽団と共演
福井直昭学長が「全日本音楽教育研究会」会長に就任
ウィンドアンサンブル演奏会
坂東玉三郎特別招聘教授による特別講座
ボストン・プラス コンサート&クリニック
管弦楽団演奏会
高校生活を彩る附属高等学校行事
(公財) ローム ミュージック ファンデーションより、グランドピアノ寄贈
笑顔があふれた附属幼稚園行事
「らんまんファンミーティング in 練馬」本学で開催 |
| 17 | Campus Information | 武蔵野音楽学園教育運営推進協力寄附金 ご寄附をいただいた方々
栄冠おめでとう！（コンクール入賞者等）
大学・高校受験講習会
オープンキャンパス
2023年12月～2024年5月の演奏会
2024年度 入学者選抜日程 |

表紙の写真

江古田キャンパス プラームスホールのホワイエ。ガラス張りの吹き抜けの中にレッドカーペット敷きの大階段が設えられた、開放的でダイナミックな空間となっています。本学の伝統の象徴として再設置した、旧キャンパス447室のクリスタル照明が、近代的な雰囲気に見事に調和しています。



学校法人 **武蔵野音楽学園**

江古田キャンパス | 〒176-8521 東京都練馬区羽沢 1丁目 13-1
TEL. 03-3992-1121 (代表)

人間キャンパス | 〒358-8521 埼玉県入間市中神 728
TEL. 04-2932-2111 (代表)

パルナソス多摩 | 〒206-0033 東京都多摩市落合 5-7-1
TEL. 042-389-0711 (代表)

武蔵野音楽大学大学院
博士前期課程・博士後期課程

武蔵野音楽大学

武蔵野音楽大学別科

武蔵野音楽大学附属高等学校

武蔵野音楽大学第一幼稚園

武蔵野音楽大学第二幼稚園

武蔵野音楽大学武蔵野幼稚園

附属音楽教室 江古田・人間・多摩

武蔵野音楽大学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

